

市内の大気中の放射線の測定に万全の備えを！

市原市では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線の影響から、市民の不安を解消するため、市民からの要望を踏まえ特に子ども達が日常的に使用する身近な施設について、市内132地点の放射線量測定を実施しました。

測定の結果は、各地点の放射線量は1時間あたり0.02から0.20マイクロシーベルトの範囲で、文部科学省が示している校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安(1時間当たり3.8マイクロシーベルト)を下回りました。

公明党はこのたび、市民から「子どもを屋外で遊ばせても大丈夫か」との不安の声が多く寄せられたことから、市原市議会公明党のメンバーは塚定県議と共に、7月13日に市内15カ所で、放射線モニターを使って放射線量の測定を行いました。

これからも、放射能から子どもを守るための対策として、測定機の貸出や、測定値の公表のあり方、放射線の基礎知識が学べる講習会の開催など、具体策を実施するよう強く要望しました。



この度の市議会議員選挙におきまして、市民の皆様から力強いまた温かなご支援をいただき初当選させていただきました。皆様のお心にお応えできるようそして 笑顔あふれる市原を目指し しっかり頑張ってまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

6月29日から7月15日にかけて、第2回市原市議会定例会が行われました。

何もかも初めてづくしで、戸惑いや不安の中、選挙中に皆様からお聞きした声を、市政にとの一心で初めての一般質問をさせていただきました。

これからも市民の皆様の代弁者として、また行政とのパイプ役として誠実に働いてまいります。

皆様の声をお聞かせください！ 市原の未来のために！

市原市議会議員 伊佐 和子

TEL・FAX 62-1385

〒299-0117 市原市青葉台4-31-16

女性の心で
笑顔あふれる 街づくり



6月定例議会一般質問から



放射線対策について

- 放射線に対する市民の不安の認識と現状の把握及び線量測定に係る取り組み体制について
⇒健康への影響、安全性の確認、放射線の測定の問い合わせが多数ある。
- 学校等への測定器を配備すると共に、その貸し出しシステムを設けてはどうか
⇒県では「国の暫定基準値は県下 54 市町村で下回っており、直ちに対策の必要はない。」との認識から、県から貸与の測定器と併せ同等の測定器を購入し監視体制の強化を図る。
- 学校給食の食材などの測定はどのようになっているか
⇒県のモニタリング検査で安全が確認された食材を使用しているため市では行っていない。今後も細心の注意を払って安心安全な学校給食に努める。

熱中症対策について

- 現在までの熱中症患者の搬送人数とその重症度はどうか
⇒6/4～7/11 までの間に、32 人を搬送。3 週間未満の入院を要する中等症 6 名、軽症者 26 名。
- 熱中症予防の取り組みとして、チラシ・ホームページ以外でも防災行政無線・メール配信での呼びかけ、町会長さんからの声かけ、クールスカーフの配布などやさしい配慮が必要に考えるが
⇒救急搬送状況を見て、あらためてその取り組みが重要である。やさしい配慮等を、早速、実施方法を関係部局と協議し、できるところから取り組む。

高齢者福祉について

- 市における認知症サポーターの現状と実績はどのようになっているか
⇒本年 6 月末現在、キャラバンメイト 37 人、認知症サポーター 2,643 人が活動している。さらに 1,000 人の養成を目標とする。

一部の掲載です。詳細は市原市議会ホームページをご覧ください。

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/160gikai/gikai.html>